

算命学中庸

【初年】 15 回目

15 回目の授業はこのページからです。

授業科目 【宿命の出し方】

【初年】 15 回目【宿命の出し方】 01

占いをするときには、生年月日を^{もと}基にして、干支^{かんし}暦とい^{こよみ}う暦をつかって、宿命を出すところからはじめます。

⇒ ここでは〔平成 18 年（2006）12 月 17 日〕に生まれた人物の宿命の出し方をご説明します。

生年月日は〔平成 18 年 12 月 17 日〕ですから……まずはこの人物が生まれた〔平成 18 年〕の年干支^{ねんかんし}（年^{ねん}の干支^{かんし}）を干支歴（かんしれき）のなかから探していただきます。

☞ 生年月日を ^{もと}基にして、宿命をだすには干支歴をつかいます。中庸院の干支歴（下記）で平成18年(2006)を探します。右側の干支歴に 平成18年(2006) 丙戌 と書かれています。

（干支歴はどれも似たような作りになっています。ゆえに中庸院の干支歴でなくても問題はないはずです）

平成18年生まれですから、生まれた人の ^{ねんかんし}年干支（平成18年の干支）は⇒「丙戌 へいかのいぬ」という干支になります。

平成18年(2006)12月17日に生まれた人の「年干支」が記載されています。平成18年の「年干支 ^{ねんかんし}」は「丙戌 へいかのいぬ」



平成19年(2007) 丁亥			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	壬寅	丙寅
3	6	癸卯	甲午
4	5	甲辰	乙丑
5	6	乙巳	乙未
6	6	丙午	丙寅
7	7	丁未	丙申
8	8	戊申	丁卯
9	8	己酉	戊戌
10	9	庚戌	戊辰
11	8	辛亥	己亥
12	7	壬子	己巳
1(平20)	6	癸丑	庚子

平成18年(2006) 丙戌			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	庚寅	辛酉
3	6	辛卯	己丑
4	5	壬辰	庚申
5	6	癸巳	庚寅
6	6	甲午	辛酉
7	7	乙未	辛卯
8	8	丙申	壬戌
9	8	丁酉	癸巳
10	8	戊戌	癸亥
11	7	己亥	甲午
12	7	庚子	甲子
1(平19)	6	辛丑	乙未

☞ 平成19年の年の干支は「丁亥^{ねん かんし} ていかのいすい」です。

☞ 平成18年の年の干支は「丙戌^{ねん かんし} へいかのいぬど」です。

丙戌 平成18年の年干支は「丙戌」です。
縦書き 横書き

年の干支なので、通常は年干支というふうに呼びます。

平成19年(2007)丁亥 の干支暦

平成18年(2006)丙戌 の干支暦

平成19年(2007)丁亥			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	壬寅	丙寅
3	6	癸卯	甲午
4	5	甲辰	乙丑
5	6	乙巳	乙未
6	6	丙午	丙寅
7	7	丁未	丙申
8	8	戊申	丁卯
9	8	己酉	戊戌
10	9	庚戌	戊辰
11	8	辛亥	己亥
12	7	壬子	己巳
1(平20)	6	癸丑	庚子

平成18年(2006)丙戌			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	庚寅	辛酉
3	6	辛卯	己丑
4	5	壬辰	庚申
5	6	癸巳	庚寅
6	6	甲午	辛酉
7	7	乙未	辛卯
8	8	丙申	壬戌
9	8	丁酉	癸巳
10	8	戊戌	癸亥
11	7	己亥	甲午
12	7	庚子	甲子
1(平19)	6	辛丑	乙未

この頁には 平成18年(2006)丙戌 ~ 平成21年(2009)己丑

までの4年間を掲載してあります。

平成19年(2007)丁亥			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	壬寅	丙寅
3	6	癸卯	甲午
4	5	甲辰	乙丑
5	6	乙巳	乙未
6	6	丙午	丙寅
7	7	丁未	丙申
8	8	戊申	丁卯
9	8	己酉	戊戌
10	9	庚戌	戊辰
11	8	辛亥	己亥
12	7	壬子	己巳
1(平20)	6	癸丑	庚子

平成18年(2006)丙戌			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	庚寅	辛酉
3	6	辛卯	己丑
4	5	壬辰	庚申
5	6	癸巳	庚寅
6	6	甲午	辛酉
7	7	乙未	辛卯
8	8	丙申	壬戌
9	8	丁酉	癸巳
10	8	戊戌	癸亥
11	7	己亥	甲午
12	7	庚子	甲子
1(平19)	6	辛丑	乙未

平成21年(2009)己丑			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	丙寅	丁丑
3	5	丁卯	乙巳
4	5	戊辰	丙子
5	5	己巳	丙午
6	5	庚午	丁丑
7	7	辛未	丁未
8	7	壬申	戊寅
9	7	癸酉	己酉
10	8	甲戌	己卯
11	7	乙亥	庚戌
12	7	丙子	庚辰
1(平22)	5	丁丑	辛亥

平成20年(2008)戊子			
月	節入日	節月干支	1日干支
2 閏	4	甲寅	辛未
3	5	乙卯	庚子
4	4	丙辰	辛未
5	5	丁巳	辛丑
6	5	戊午	壬申
7	7	己未	壬寅
8	7	庚申	癸酉
9	7	辛酉	甲辰
10	8	壬戌	甲戌
11	7	癸亥	乙巳
12	7	甲子	乙亥
1(平21)	5	乙丑	丙午

通常、干支歴は上記のように掲載されています。

🔍【初年】9回目【六十干支】を参照ください。

【六十干支】で勉強しましたように、平成18年12月17日という宿命を出すときには……

まずは、平成18年の干支である年干支^{ねんかんし}を出します。

つぎに、12月の月干支^{げっかんし}になるのは、どの干支なのか……
というのを出します。

最後に 17日 という日^ひの干支が、どの干支になるのか、
というのを出します。と学びました。

年^{ねん}・月^{つき}・日^ひ、これら3つの干支を出せばよいのです。

年干支は——干支歴で平成18年のところを開けますと、

「丙戌」という干支が書いてあります。この「丙戌」^{へいかのいぬ}
は平成18年の年干支です。

ここで1つだけ注意事項があります。

年干支をだすときの注意事項……。

立春(2/4頃)より前に生まれた人は、前年の年干支になります。

『立春』⇒ その年^{とし}の1年間が始まる日ですよ。

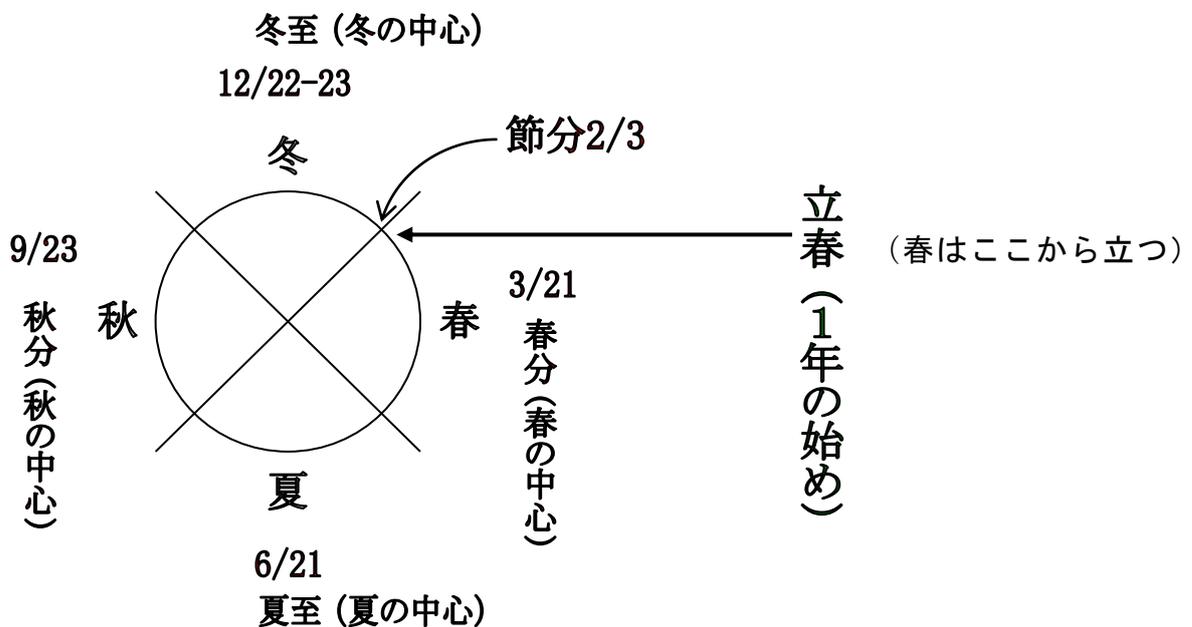
年干支を出すときは、このことに気を付けてください。

[たとえば]「立春の日よりも前に生まれた」ということであれば、^{ぜんねん}前年、つまり、^{まえとし}前の年の年干支となります。なぜならば……干支の世界では、立春を1年の始まりとしています。

🔍【初年】 2回目【三つの礎】その(1)十二支を参照ください。

【三つの礎】で、十二支の成り立ちを勉強したときに、1年は立春から始まります。と出てきました。

宿命 (10) 立春



干支歴では、2月の^{せついりび}節入日が^{りっしゅん}立春になっています。

2月の節入日が立春ですよ。

平成18年の場合は、2月の^{せつ}節入^りび日が、何日になっていますか……？ そう……4日と書いてあります。

それゆえに、2月4日が^{せつ}節入^りび日です。

毎年 **2月の節入日が立春** になりますよ。

☞ ほとんど2月4日が立春の場合が多いのですが……

閏年（うるうどし）の^{とし}年があります。

〔たとえば〕昭和55年（1980年）は閏年です。

🔍 つぎのページの干支暦で、**昭和55年（1980）庚申** を
見てください。

昭和55年の節入り日は、何日になっていますか……？

そう、5日になっています。

📎 昭和53年(1978)～昭和56年(1981)までの干支暦です。

昭和54年(1979) 己未			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	丙寅	己亥
3	6	丁卯	丁卯
4	5	戊辰	戊戌
5	6	己巳	戊辰
6	6	庚午	己亥
7	8	辛未	己巳
8	8	壬申	庚子
9	8	癸酉	辛未
10	9	甲戌	辛丑
11	8	乙亥	壬申
12	8	丙子	壬寅
1(昭55)	6	丁丑	癸酉

昭和53年(1978) 戊午			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	甲寅	甲午
3	6	乙卯	壬戌
4	5	丙辰	癸巳
5	6	丁巳	癸亥
6	6	戊午	甲午
7	7	己未	甲子
8	8	庚申	乙未
9	8	辛酉	丙寅
10	9	壬戌	丙申
11	8	癸亥	丁卯
12	7	甲子	丁酉
1(昭54)	6	乙丑	戊辰

昭和56年(1981) 辛酉			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	庚寅	庚戌
3	6	辛卯	戊寅
4	5	壬辰	己酉
5	5	癸巳	己卯
6	6	甲午	庚戌
7	7	乙未	庚辰
8	7	丙申	辛亥
9	8	丁酉	壬午
10	8	戊戌	壬子
11	7	己亥	癸未
12	7	庚子	癸丑
1(昭57)	5	辛丑	甲申

昭和55年(1980) 庚申			
月	節入日	節月干支	1日干支
2, 閏	5	戊寅	甲辰
3	5	己卯	癸酉
4	5	庚辰	甲辰
5	5	辛巳	甲戌
6	5	壬午	乙巳
7	7	癸未	乙亥
8	7	甲申	丙午
9	7	乙酉	丁丑
10	8	丙戌	丁未
11	7	丁亥	戊寅
12	7	戊子	戊申
1(昭56)	5	己丑	己卯

昭和55年の2月の節入り日は、**5日**と書いてあります。

そして **閏年** (うるうどし) です。 そうしますと……

昭和55年(1980)の場合は、2月5日が立春になります

このように、昭和55年（1980）は^{うるうどし}閏年です。
閏年がきますと、立春も1日ズレルことがありますから
立春については、干支歴で必ず確認してください。

昭和55年の閏年なので、2月5日が立春です。
そうしますと、2月5日よりも、前に生まれた人の場合
は、前年の昭和54年の年干支「己未」になるわけです。

📖 もう一度、復習します。

🔍 【初年】 15回目【宿命の算出】 04 平成18年（2006）
を見てください。

平成18年（2006）は、丙戌（へいかのいぬ）と干支歴に
書いてあります。

正しくいえば、平成18年の2月4日から「丙戌」の年^{とし}が
始まった。という意味です。

👉 必ず、その1年は立春から始まります。

平成18年は「丙戌」の年^{とし}と書いてあっても……

1年は立春から始まる と、頭に入れておいてください。

👁️ そうしますと、おなじ平成18年に生まれた人でも、
平成18年2月3日に生まれた人は、2月4日の立春より
も、1日前に生まれたことになりますよね。

つまり、立春の前日に生まれたわけですから、前の年の
平成17年の乙酉（おつのとりの）という干支になります。

🔍 今度は……11 ページの干支歴、**平成17年（2005）乙酉** を
見てください。

✎ 平成14年(2002)～平成17年(2005)の干支暦です。

平成15年(2003) 癸未			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	甲寅	乙巳
3	6	乙卯	癸酉
4	5	丙辰	甲辰
5	6	丁巳	甲戌
6	6	戊午	乙巳
7	7	己未	乙亥
8	8	庚申	丙午
9	8	辛酉	丁丑
10	9	壬戌	丁未
11	8	癸亥	戊寅
12	7	甲子	戊申
1(平16)	6	乙丑	己卯

平成14年(2002) 壬午			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	壬寅	庚子
3	6	癸卯	戊辰
4	5	甲辰	己亥
5	6	乙巳	己巳
6	6	丙午	庚子
7	7	丁未	庚午
8	8	戊申	辛丑
9	8	己酉	壬申
10	8	庚戌	壬寅
11	7	辛亥	癸酉
12	7	壬子	癸卯
1(平15)	6	癸丑	甲戌

平成17年(2005) 乙酉			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	戊寅	丙辰
3	5	己卯	甲申
4	5	庚辰	乙卯
5	5	辛巳	乙酉
6	5	壬午	丙辰
7	7	癸未	丙戌
8	7	甲申	丁巳
9	7	乙酉	戊子
10	8	丙戌	戊午
11	7	丁亥	己丑
12	7	戊子	己未
1(平18)	5	己丑	庚寅

平成16年(2004) 甲申			
月	節入日	節月干支	1日干支
2 閏	4	丙寅	庚戌
3	5	丁卯	己卯
4	4	戊辰	庚戌
5	6	己巳	庚辰
6	5	庚午	辛亥
7	7	辛未	辛巳
8	7	壬申	壬子
9	7	癸酉	癸未
10	8	甲戌	癸丑
11	7	乙亥	甲申
12	7	丙子	甲寅
1(平17)	5	丁丑	乙酉

平成18年(2006)は2月4日の節入日からです。平成18年2月3日というのは、
 2月4日の節入日の前ですから、年干支は平成17年(2005) **乙酉** になります。

📎 この頁には 平成18年(2006)丙戌 ~ 平成21年(2009)己丑

までの、4年間を掲載してあります。

平成19年(2007)丁亥			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	壬寅	丙寅
3	6	癸卯	甲午
4	5	甲辰	乙丑
5	6	乙巳	乙未
6	6	丙午	丙寅
7	7	丁未	丙申
8	8	戊申	丁卯
9	8	己酉	戊戌
10	9	庚戌	戊辰
11	8	辛亥	己亥
12	7	壬子	己巳
1(平20)	6	癸丑	庚子

平成18年(2006)丙戌			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	庚寅	辛酉
3	6	辛卯	己丑
4	5	壬辰	庚申
5	6	癸巳	庚寅
6	6	甲午	辛酉
7	7	乙未	辛卯
8	8	丙申	壬戌
9	8	丁酉	癸巳
10	8	戊戌	癸亥
11	7	己亥	甲午
12	7	庚子	甲子
1(平19)	6	辛丑	乙未

平成21年(2009)己丑			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	丙寅	丁丑
3	5	丁卯	乙巳
4	5	戊辰	丙子
5	5	己巳	丙午
6	5	庚午	丁丑
7	7	辛未	丁未
8	7	壬申	戊寅
9	7	癸酉	己酉
10	8	甲戌	己卯
11	7	乙亥	庚戌
12	7	丙子	庚辰
1(平22)	5	丁丑	辛亥

平成20年(2008)戊子			
月	節入日	節月干支	1日干支
2 閏	4	甲寅	辛未
3	5	乙卯	庚子
4	4	丙辰	辛未
5	5	丁巳	辛丑
6	5	戊午	壬申
7	7	己未	壬寅
8	7	庚申	癸酉
9	7	辛酉	甲辰
10	8	壬戌	甲戌
11	7	癸亥	乙巳
12	7	甲子	乙亥
1(平21)	5	乙丑	丙午

🔍 11頁の 平成17年(2005)乙酉 と、

12頁の 平成18年(2006)丙戌 の干支暦を参照ください。

👉 平成18年2月3日に生れた人の年干支は乙酉です。
2月3日は立春前なので、平成18年 の年干支は、平成17年の年干支「乙酉 おつのとりのり」になります。平成17年(2005)乙酉

日 干 支	月 干 支	年 干 支
		乙 酉

おなじ平成18年生まれの人でも、立春より、

1日でも前に生まれたら、前の^{とし}年(平成17年)の年干支「乙酉」にいないといけないのです。

ここまでおわかりになりますか……？

つまり、平成17年の年干支を干支歴で見ると、年干支は乙酉 ですから、上記のようになります。

もっと前の1月であれば、1月生まれは、必ず、前の年の年干支だと、^{おも}想っておいてもよいと思います。

そして、2月4日に生まれた人は、2月4日の^ひ日以降に生まれていますから、平成18年(2006)丙戌 の干支でよいのです。

その年、平成18年(2006)は、2月4日から始まりますから、干支は「丙戌(へいかのいぬど)」になります。

1日でも前の2月3日だったら、前の年の年干支になりますよ。つまり、平成17年（2005）になりますので、年干支を出すときは、そこだけ注意してください。

⇒ [平成18年12月17日] に生まれた人にもどります。ここからは「月干支 げっかんし」を出します。

平成18年の12月ですから、干支歴で12月を見てください。12頁の 平成18年（2006）丙戌 を参照ください。

12月の 節月干支（せつげっかんし） という欄に書いてある干支が、その人が生まれた月（つき）の干支です。

平成18年12月の 節月干支 という ^{ぎょう}行のところ……
庚子（こうきんのね・こうきんのねすい）と書いてあります。

「庚子 こうきんのねすい」⇒ この人の月干支（げっかんし）です。

この人は、庚子月（こうきんのねづき・こうきんのねのつき）に生まれているわけです。12月の月干支は「庚子」です。

☞ 月干支にも注意事項があります。

月干支についての注意事項

節入日 より前に生まれた場合は、前月の月干支となる
→ その月が始まる日です。

☞ 平成 18 年 (2006) ~ 平成 21 年 (2009) の干支暦です。

平成 18 年 12 月 17 日に生まれた人の月干支は**庚子**です。

平成 19 年 (2007) 丁亥			
月	節入日	節月干支	1 日干支
2	4	壬寅	丙寅
3	6	癸卯	甲午
4	5	甲辰	乙丑
5	6	乙巳	乙未
6	6	丙午	丙寅
7	7	丁未	丙申
8	8	戊申	丁卯
9	8	己酉	戊戌
10	9	庚戌	戊辰
11	8	辛亥	己亥
12	7	壬子	己巳
1(平20)	6	癸丑	庚子

平成 18 年 (2006) 丙戌			
月	節入日	節月干支	1 日干支
2	4	庚寅	辛酉
3	6	辛卯	己丑
4	5	壬辰	庚申
5	6	癸巳	庚寅
6	6	甲午	辛酉
7	7	乙未	辛卯
8	8	丙申	壬戌
9	8	丁酉	癸巳
10	8	戊戌	癸亥
11	7	己亥	甲午
12	7	庚子	甲子
1(平19)	6	辛丑	乙未

平成 21 年 (2009) 己丑			
月	節入日	節月干支	1 日干支
2	4	丙寅	丁丑
3	5	丁卯	乙巳
4	5	戊辰	丙子
5	5	己巳	丙午
6	5	庚午	丁丑
7	7	辛未	丁未
8	7	壬申	戊寅
9	7	癸酉	己酉
10	8	甲戌	己卯
11	7	乙亥	庚戌
12	7	丙子	庚辰
1(平22)	5	丁丑	辛亥

平成 20 年 (2008) 戊子			
月	節入日	節月干支	1 日干支
2 閏	4	甲寅	辛未
3	5	乙卯	庚子
4	4	丙辰	辛未
5	5	丁巳	辛丑
6	5	戊午	壬申
7	7	己未	壬寅
8	7	庚申	癸酉
9	7	辛酉	甲辰
10	8	壬戌	甲戌
11	7	癸亥	乙巳
12	7	甲子	乙亥
1(平21)	5	乙丑	丙午

節入日（せついりび）をなにかといえ、節入日というのは、その月（つき）が始まる日です。

月干支を出すときは、この部分を注意してください。

節入日より前の生まれは、^{まえ}前の^{つき}月の^{げっかんし}月干支になります。

このことをご説明しますと……平成18年の12月の節入日という箇所は 7日 になっていますよね。

平成18年の12月の節入日という箇所に 7 と書いてあるはずですよ。

これは12月7日という^ひ日が節入日ということです。

つまり12月7日からは、12月という^{つき}月が始まります。という意味です。

平成18年の^{がつ}12月の^{つき}月は「庚子 こうきんのねすい」です。と、干支歴に書いてあります。

正しくいえば、^{こうきんのね}庚子^{つき}の月は、12月の節入日の 7日 から始まります。という意味です。

重ねていいます……12月の^{せついりび}節入日が7日になっているのは、12月7日から「庚子月 こうきんのねづき」が、始まったということです。

⇒ 『立春』は、1年の始まる日でした。

その立春は大体2月4日です。

2月1日ではなくて……2月4日です。はじめからズレています。

つぎの3月は……3月5日、あるいは、3月6日位から、はじまるわけです。

つぎの4月は……4月5日、あるいは、4月6日位から、はじまります。

また、つぎの5月は……5月5日、あるいは、5月6日位からはじまります。

受講生の方が、すでにお気づきのように、最初の立春が2月4日で……すでに4日間ズレてますから、つぎの月も、4日あるいは5日ずつ、ズレてしまうわけです。

それゆえに、毎月の節入日を確認してくださいね。

その人物の誕生日が、もし、6月の節入日よりも、前に生まれていた場合には、前の月の月干支にしないといけないのです。

よろしいですか……。

⇒ もう一度確認します。

平成 18 年の 12 月の節入日は 7 日です。

そうしますと、平成 18 年 12 月 17 日生まれの人は……

節入日の^{あと}後に生まれていますから、12 月の 節月干支 の^{かしよ}の箇所を見ると 庚子 と書いてありますから、月干支は「庚子 こうきんのねすい」になります。

🔍 【本科】 15回目【宿命の算出】 15 ⇒ 平成 18 年 (2006) 丙戌 を参照ください。

平成 18 年 12 月 17 日生まれの人 ⇒ 年干支 は「丙戌」です。

平成 18 年 12 月 17 日生まれの人 ⇒ 月干支 は「庚子」です。

日 干 支	月 干 支	年 干 支	平成 18 年 12 月
	庚	丙	
	子	戌	

ですから（昭和でも平成でも）何年の生まれであっても、

毎月、月の始めのほう^{つき}に生まれた人は……。

〔たとえば〕誕生日が、3 月 3 日とか、2 月 1 日とか、

10月4日とか——月の始めの頃に生まれた人は、節入日よりも前まえになっている可能性がありますから、必ず暦こよみで確認をして、節入日よりも前なのか……どうかを見てから、月干支を決めてください。

〔たとえば〕節入日が12月7日だとすれば、12月6日に生まれた人は、前の月になりますよ。

ここまでおわかりになりますか、よろしいでしょうか……。

☞ では……ここまでのおさらいをします。

平成18年12月17日を出すときに、干支歴の平成18年を開けると、平成18年はへいかのいぬ 丙とし 戌の年と書いてあります。12月は、立春より後ですから、年干支は「丙戌」のまま
でよいわけです。

つぎに……12月です。12月は 節月干支 という行にある干支を見ると「庚子」と書いてあります。

この「庚子」はう 生つき まれたかんし 月の干支です。

ただし、月干支を出すときは、節入日より前に生まれた場合は前の月の月干支になります。このことに注意してください。ここまでで「年」と「月」を出せました。

⇒ 最後に日干支 (にっかんし) を出します。

日干支を出すだけでは、少し数えないといけないのです。
まずは順番にやっています。

🔍 【初年】 15回目【宿命の算出】 15 ⇒ 平成18年(2006) 丙戌
を見てください。

日干支は、平成18年12月の 1日干支 という行を見ますよ。 見つかりましたか……？

⇒ 日干支だけは、^{まいにち}毎日、^{まいにち}毎日の干支です。

毎日、毎日の干支を干支暦には書き切れません。そこで
^{まいつき}毎月の……1日 (ついたち) の干支しか出ていないのです。

12月1日の場合、12月の1日干支 (一番右の行) という箇所
を見ますと、甲子 (こうぼくのねすい) と書いてあります。

甲子を (こうぼくのねすい) (こうぼくのね) 読み方はどちらも正しいです。

これは12月1日が、^{ついたち} 甲 ^{こうぼくのね} 子 ^ひ の日という意味です。

12月1日が「甲子」の日というのは、^ひ 歴 (干支歴) ^{こよみ} を見ればわかりますが、この人の誕生日は17日ですから……

12月1日から、12月17日までの日数を、^{にっすう} 数える必要があります。
12月1日~12月17日までの日数を数える。

👉 この数え方は「六十干支表」^{ろくじゅうかんしひょう}を見てください。

🔍 【初年】 9 回目【六十干支】 02 に掲載されています。

このページだけをプリントできます。B5 でのプリントがお勧めです。

「六十干支」表は、60 個の干支が、1 番から 60 番まで順番にならんでいます。

12 月 1 日は甲子（こうぼくのね）でしたから、この六十干支表のなかで、甲子という干支を探しますと、最初の 1 番目に甲子いう干支があります。

「六十干支表」で干支を探すときは、十二支の順番に（子丑寅卯辰巳……）というように並んでいますので、甲子は（子）なので、表の一番上のほうを探すと見つかります。

干支には順番に番号が付記されています。これを干支番号といいます。

〔たとえば〕「甲子 1」「乙丑 2」 最後の「癸亥 60」とかです。

👁️ ここでは平成 18 年 12 月 17 日の 17日^{にち} を出すわけですから、六十干支表で 12 月 1 日の「甲子」という干支を探したら、「甲子」から 17日目^{にちめ} まで数えて、そこに位置する干支は、どの干支になるのかです。

12 月 1 日は「甲子」で、12 月 2 日が「乙丑」というように順番に表の下方に行きます。干支番号の順番に沿って

数えていきます。——12月3日は「丙寅」です。

〔たとえば〕このときに干支番号が60番の「癸亥60」まで来た
としたら、干支番号1番の「甲子1」に戻って続けて行きます。

そうしますと、4・5・6・7と数えていくと、17日目は

「庚辰 こうきんのたつど」という干支になります。

この人の日干支は「庚辰 こうきんのたつど」です。

にっかんし こうきんのたつ
日干支 は 庚 辰 日干支は「庚辰」になります。

平成18年12月17日生まれの人⇒「年干支」は『丙戌』です。

平成18年12月17日生まれの人⇒「月干支」は『庚子』です。

平成18年12月17日生まれの人⇒「日干支」は『庚辰』です。

日 干 支	月 干 支	年 干 支
庚	庚	丙
辰	子	戌

平成18年12月17日

以上で宿命は完成です

ここまでおわかりになりましたか……？

⇒ 日干支の出し方だけを、もう 1 回、はじめからご説明
します。

日干支を出すときは、毎月、1 日の干支ついたちしか、暦こよみには出
ていませんから、12 月の **1 日干支** という箇所を見ます。
12 月 1 日は「甲子」ということを、まずは暦（干支歴）で
調べます。

つぎに、12 月 1 日は「甲子」ですから、六十干支表を見
て、**17 日目** が何の干支になるのかを数えて行きます。
この場合は「庚辰こうきんのたつ」という干支が **17 日目** になってい
ます。

⇒ 宿命の算出は、最初は少し手間取るとおもいますが、
宿命を出し間違えてしまうと、何にもなりません。

そこで、ゆっくりでよろしいですから、正しく出すよう
に、練習なさってください。

4~5 人位出しますと、だんだんと慣れてきて、速く出せ
るようになります。

ご自分のご家族とか、お知り合いの方の生年月日を参考
にして、宿命を出す練習をするとよいでしょう。

☞ では——ここで練習します。

2007年9月で任期が終った「小泉純一郎 前総理大臣」をやってみます。人物の好き嫌いはあるかと思いますが、当時、国民の支持率が高かった人で、とても変わった宿命をしています。

* 小泉純一郎 1942(s17)-1-8

小泉さんは、昭和17年1月8日生まれです。

昭和17年1月8日なので、ちょっと注意しながら宿命を出してください。

昭和17年生まれは、算命学中庸の干支暦を見ると……

昭和17年(1942) 壬午

 ⇒ 壬午(じんすいのうまび)と書いてあります。そして、月(つき)は、2月から書いてありますが、その前の1月は書いてないのです。

そうしますと、小泉さんは1月生まれです。

昭和17年1月生まれというのは、2月4日の立春よりも前に生まれています。2月4日の立春より前に生まれた。

そうしますと、昭和17年の1月については、干支歴の……

昭和16年(1941) 辛巳

 の1番下の行に、つぎのように書いてあります ⇒

1(昭17)	6	辛丑	甲寅
--------	---	----	----

📅 昭和13年(1938)～昭和16年(1941)の干支暦

昭和14年(1939) 己卯			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	5	丙寅	己巳
3	6	丁卯	丁酉
4	6	戊辰	戊辰
5	6	己巳	戊戌
6	6	庚午	己巳
7	8	辛未	己亥
8	8	壬申	庚午
9	8	癸酉	辛丑
10	9	甲戌	辛未
11	8	乙亥	壬寅
12	8	丙子	壬申
1(昭15)	6	丁丑	癸卯

昭和13年(1938) 戊寅			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	甲寅	甲子
3	6	乙卯	壬辰
4	5	丙辰	癸亥
5	6	丁巳	癸巳
6	6	戊午	甲子
7	8	己未	甲午
8	8	庚申	乙丑
9	8	辛酉	丙申
10	9	壬戌	丙寅
11	8	癸亥	丁酉
12	8	甲子	丁卯
1(昭14)	6	乙丑	戊戌

昭和16年(1941) 辛巳			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	庚寅	庚辰
3	6	辛卯	戊申
4	5	壬辰	己卯
5	6	癸巳	己酉
6	6	甲午	庚辰
7	7	乙未	庚戌
8	8	丙申	辛巳
9	8	丁酉	壬子
10	9	戊戌	壬午
11	8	己亥	癸丑
12	7	庚子	癸未
1(昭17)	6	辛丑	甲寅

昭和15年(1940) 庚辰			
月	節入日	節月干支	1日干支
2 閏	5	戊寅	甲戌
3	6	己卯	癸卯
4	5	庚辰	甲戌
5	6	辛巳	甲辰
6	6	壬午	乙亥
7	7	癸未	乙巳
8	8	甲申	丙子
9	8	乙酉	丁未
10	8	丙戌	丁丑
11	7	丁亥	戊申
12	7	戊子	戊寅
1(昭16)	6	己丑	己酉



1(昭17)	6	辛丑	甲寅
--------	---	----	----

📅 昭和13年（1938）～ 昭和16年（1941）の干支暦

昭和14年（1939）己卯			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	5	丙寅	己巳
3	6	丁卯	丁酉
4	6	戊辰	戊辰
5	6	己巳	戊戌
6	6	庚午	己巳
7	8	辛未	己亥
8	8	壬申	庚午
9	8	癸酉	辛丑
10	9	甲戌	辛未
11	8	乙亥	壬寅
12	8	丙子	壬申
1(昭15)	6	丁丑	癸卯

昭和13年（1938）戊寅			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	甲寅	甲子
3	6	乙卯	壬辰
4	5	丙辰	癸亥
5	6	丁巳	癸巳
6	6	戊午	甲子
7	8	己未	甲午
8	8	庚申	乙丑
9	8	辛酉	丙申
10	9	壬戌	丙寅
11	8	癸亥	丁酉
12	8	甲子	丁卯
1(昭14)	6	乙丑	戊戌

昭和16年（1941）辛巳			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	庚寅	庚辰
3	6	辛卯	戊申
4	5	壬辰	己卯
5	6	癸巳	己酉
6	6	甲午	庚辰
7	7	乙未	庚戌
8	8	丙申	辛巳
9	8	丁酉	壬子
10	9	戊戌	壬午
11	8	己亥	癸丑
12	7	庚子	癸未
1(昭17)	6	辛丑	甲寅

昭和15年（1940）庚辰			
月	節入日	節月干支	1日干支
2 閏	5	戊寅	甲戌
3	6	己卯	癸卯
4	5	庚辰	甲戌
5	6	辛巳	甲辰
6	6	壬午	乙亥
7	7	癸未	乙巳
8	8	甲申	丙子
9	8	乙酉	丁未
10	8	丙戌	丁丑
11	7	丁亥	戊申
12	7	戊子	戊寅
1(昭16)	6	己丑	己酉

👉 小泉さんは、昭和17年1月8日生まれですから、前年の年干支になります。前年の昭和16年（1941）の年干支は **辛巳** です。

✎ 昭和17年（1942）～昭和20年（1945）の干支暦
 です。

昭和18年（1943）癸未			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	5	甲寅	庚寅
3	6	乙卯	戊午
4	6	丙辰	己丑
5	6	丁巳	己未
6	6	戊午	庚寅
7	8	己未	庚申
8	8	庚申	辛卯
9	8	辛酉	壬戌
10	9	壬戌	壬辰
11	8	癸亥	癸亥
12	8	甲子	癸巳
1(昭19)	6	乙丑	甲子

昭和17年（1942）壬午			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	壬寅	乙酉
3	6	癸卯	癸丑
4	5	甲辰	甲申
5	6	乙巳	甲寅
6	6	丙午	乙酉
7	8	丁未	乙卯
8	8	戊申	丙戌
9	8	己酉	丁巳
10	9	庚戌	丁亥
11	8	辛亥	戊午
12	8	壬子	戊子
1(昭18)	6	癸丑	己未

昭和20年（1945）乙酉			
月	節入日	節月干支	1日干支
2	4	戊寅	辛丑
3	6	己卯	己巳
4	5	庚辰	庚子
5	6	辛巳	庚午
6	6	壬午	辛丑
7	7	癸未	辛未
8	8	甲申	壬寅
9	8	乙酉	癸酉
10	9	丙戌	癸卯
11	8	丁亥	甲戌
12	7	戊子	甲辰
1(昭21)	6	己丑	乙亥

昭和19年（1944）甲申			
月	節入日	節月干支	1日干支
2 閏	5	丙寅	乙未
3	6	丁卯	甲子
4	5	戊辰	乙未
5	6	己巳	乙丑
6	6	庚午	丙申
7	7	辛未	丙寅
8	8	壬申	丁酉
9	8	癸酉	戊辰
10	8	甲戌	戊戌
11	7	乙亥	己巳
12	7	丙子	己亥
1(昭20)	6	丁丑	庚午

🔍 昭和13年（1938）～ 昭和16年（1941）の干支暦を
見てください。

昭和16年の一番下の^{ぎょう}行に、昭和17年の1月の項目が、
もうすでに入っていますので、そこを見てください。

小泉さんは、昭和17年生まれで、1月8日は立春よりも
前になりますから、年干支は昭和16年の干支「^{しんきんのみ}辛巳」
になるわけです。

小泉さんのように、1月生まれという人物の場合は……
立春より前に生まれています。 注意が必要です。

まず、順番にやっていきます。

⇒ 昭和17年の干支は「壬午 ^{じんすいのうまび}」ですが、彼は
1月8日生まれです。

昭和17年の1月の節入日は 6日 です。彼は8日生まれな
ので、節入日の6日から、2日後に生まれています。

そうしますと、昭和16年（1941）辛巳 ^{とし}の年に生まれ
たこととなります。

それゆえに、年干支は「辛巳^{しんきんのみび}」です。

✽ 小泉純一郎 1942(s17)-1-8

昭和17年1月8日生まれの人⇒「年干支」は『辛巳』です。

日 干 支	月 干 支	年 干 支
		辛 巳

小泉純一郎さん「年干支」

昭和17年

年干支は「辛巳」(しんきんのみ)(しんきんのみび)です。

(巳)は五行で火性ですから、辛巳(しんきんのみび)でもよいのです。

27ページの干支暦を見ると、昭和17年(1942)の干支は「壬午」(じんすいのうまび)です。

壬午(じんすいのうまび)の^{とし}年は2月4日から始まります。

小泉さんは1月生まれです。

つまり2月4日より前に生まれたので、干支のうえでは、前年の昭和16年に生まれたことになるのです。

☞ つぎに、月干支(げっかんし)を出してみます。

干支歴で昭和16年の月の一番下の行には、(昭和17)が入っています。おなじ行にある昭和17年の節月干支を見ると、辛丑と書いてあります。

昭和 17 年 1 月 8 日生まれの人⇒「年干支」は『辛巳』です。

昭和 17 年 1 月 8 日生まれの人⇒「月干支」は『辛丑』です。

日 干 支	月 干 支	年 干 支
	辛	辛
	丑	巳

小泉純一郎さん「月干支」

昭和 17 年 1 月

月干支は「辛丑 しんきんのうしど」です。

これも念のために、節入日を確認しておきます。

昭和 17 年 1 月の節入日は、何日になっていきますか……？

そう……**6 日**です。1 月 6 日が節入日になっています。

小泉さんは 1 月 8 日に生まれています。

節入日より前に生まれたものではありません。それゆえここのままでよいわけです。

もし、1 月 6 日より前の、1 月 5 日生まれとかであれば

1 つ前の月になります。

そこに気をつけてください。

☞ 最後は、日干支を出します。

昭和17年の1月の 1日干支 ついたちかんし を見ます。

1月の1日干支は「甲寅 こうぼくのとら」と書いてあります。

六十干支表で「甲寅 こうぼくのとらぼく」をさがします。

甲寅の干支番号は51番です。

この「甲寅」が1月1日ということになります。

☞ 干支番号は、甲寅の右横に付記されている数字です。

「甲寅」を1月1日としたら、ここから2日、3日、4日、5日、6日、7日、8日、と数えて8日目の干支が、なんの干支になっているのかを見ます。甲寅から数えて行くと

「辛酉 しんきんのとりきん」が8日目になっているはずです。

昭和17年1月8日生まれの人⇒ 年干支は「辛巳」です。

昭和17年1月8日生まれの人⇒ 月干支は「辛丑」です。

昭和17年1月8日生まれの人⇒ 日干支は「辛酉」です。

日 干 支	月 干 支	年 干 支
辛	辛	辛
酉	丑	巳

小泉純一郎さん「日干支」

昭和17年1月8日

「辛酉 しんきんのとりきん」が小泉さんの日干支です。

年干支・月干支・日干支と記入しましたが、通常は書きません。

↓

日 干 支	月 干 支	年 干 支
辛	辛	辛
酉	丑	巳

また、実線で囲むこともしません。

受講生の方がわかりやすいように、書き加えたにすぎません。通常は書きません。

以上で小泉さんの宿命は完成です

⇒ 小泉純一郎さんの宿命は、とても変わっています。総理大臣になる前は“変人”といわれていましたけど、宿命が片寄っているのです。

せっかく小泉さんの、宿命を出してみましたので、少しだけ、ご説明したいと思います。

まだ、皆さんは学んでいませんので、この宿命をみてもわからないとおもいますが、とても変わった宿命です。

- ・ 片寄った宿命
- ・ 非常に変わった宿命

辛 辛 辛 ⇒ 天干 (てんかん) はすべて「辛金」の金性です。

酉 丑 巳 ⇒ 地支 (ちし) の十二支も酉金 (とりきん) が入っています。

金性

宿命は、上の^{うえ}天干^{てんかん}はぜんぶ「辛金^{しんきん}」で^{きんせい}金性です。

下の^{した}十二支^{じゅうにし}も、酉^{とり}という金性が入っています。

☞ 天干は十干で表記します。地支は十二支で表記します。

^{てんかん}天干と^{ちし}地支が組み合わさって、^{かんし}干支と呼ぶわけです。

☞ ^{とり}酉は^{ごぎょう}五行で金性なので、酉金 (とりきん) といいます。

☞ ^{ごぎょう}五行 [^{もくせい}木性・^{かせい}火性・^{どせい}土性・^{きんせい}金性・^{すいせい}水性] これら五つの質を、五行といいます。そうしますと⇒ ^{とり}酉は^{きんせい}金性の質に^{しつぞく}属しますから、酉に^{とりきん}金性をつけて酉金と呼称します。

これから勉強していくとわかりますが、ある技法をつかいますと、下 (地支) もぜんぶ金性になってしまうのです。

五行のおなじ質もの (ここでは金性) が、このように並ぶのは非常に珍しい宿命です。ものすごく片寄った宿命です。

このように片寄った宿命はあまりないのです。

そして器が極めて大きい宿命です。現在の日本の政治家にはいません。

こういう宿命の人が、“宿命どおり”に生きるとしたら、どのような生き方をしたら良いと想いますか……？

変わった生き方をすれば、宿命通りの生き方になります。

変わった生き方 ⇒ 宿命通り

この宿命で、普通の生き方をしたら、宿命通りの役目を果たしていないことになるのです。

小泉さんは政治家ですが、政治の世界のなかにおいて、変わった事をしなさい。という宿命です。

それは何だと思えますか……？ それは改革です。

改革の役目 がある宿命です。

たまたま政治家の家に生まれたので、総理大臣になったのではなくて、当時の日本において改革が必要だから、総理大臣に選ばれました。

このように算命学では考えるのです。

仮に……こういう宿命の人が政治家ではなくて、会社員になったとしたらどうでしょう。

安定した社会生活のなかでは出世できないのです。

改革の役目を必要としない・改革の役目はいらぬ会社だとしたら、この人は出世できません。

改革の役目を必要とする会社であれば、運勢は伸びて行きます。

小泉さんは、当時の日本に適した首相だったといえます。

これほど改革の役目に適した政治家はいませんでした。

変わった宿命なのに、改革をやらなかったらどうなりますか……やらなかったら、ただの変わり者・変人です。

この人が総理になる前は、^{へんじん}変人と呼ばれていました。

そして、宿命の器が極めて大きいので、一国の総理としては適任といえます。

この宿命は……例題として授業でつかっていくことがありますので、そのときは、より詳しく観て行くようになります。

☞ 宿命の出し方は、おわかりになりましたでしょうか……？

宿命を出せないと困りますので、是非、練習してください。

⇒ 宿命を出せたとしますと——宿命の書き方にも決ま
りがあります。

必ず、右から、年・月・日の順番に書いてください。

☞ 注意事項としまして：

- ・ 宿命は右から、年・月・日の順番に書くこと
- ・ 宿命を読むときも、年・月・日の順に読む

このように決まっています。

書き方は……つぎのような形で書きます。読むときもお
なじです。

〔たとえば〕 この宿命は、「何ですか」といわれたら……

※この宿命は小泉さんではないですよ※

←

戊 甲 丙

辰 午 戌 右から順番に読みます。 五行の質〔土性〕を意味する

丙戌（へいかのいぬ）または（へいかのいぬど）

甲午（こうぼくのうま）または（こうぼくのうまび）火性

戊辰（ぼどのたつ）または（ぼどのたつど）

というふうに読みます。

☞ 小泉純一郎さんの宿命を読むと……



辛 辛 辛

酉 丑 巳 右から順番に読みます。 五行の質〔火性〕を意味する

辛巳（しんきんのみ）または（しんきんのみ^び）

辛丑（しんきんのうし）または（しんきんのうし^ど）土性

辛酉（しんきんのとり）または（しんきんのとり^{きん}）

というふうに読みます。

〔たとえば〕「小泉総理の宿命って何だっけ？」と、あなたが訊かれたと
します。そのときに「小泉さんは、辛巳・辛丑・辛酉です」と答えれば
（算命学を勉強している人は）わかります。

小泉さんの「^{てんちゆうさつ}天中殺はなに？」と、訊かれたら、「^き子丑^{ねうしてんちゆうさつ}天中殺」と
答えればよいわけです。子丑天中殺といわれた人は、それだけで小泉さん

は宿命^{しゆくめいちゆうさつ}中殺の一つである「^{せいげつちゆうさつ}生月中殺」をもっているとわかります。

「生月中殺」は、生まれてから死ぬまで月干支が中殺を受けている事を意味します。

ここでは宿命を訊かれたときに、「小泉さんは辛巳・辛丑・辛酉です」と、
年干支から答えていますから、日干支は「辛酉」だとわかるわけです。

日干支さえわかれば、「天中殺は？」と訊かなくても、その人の天中殺が
わかる人もいます。

❖ 逆から書いたり、逆から読んだりすると、宿命の意味がまったく違ってきます。

☞ 宿命は必ず……年・月・日の順番で読むということを、知っておいてください。

宿命を読むときは、年干支・月干支・日干支 の順番で読みます。

⇒ 宿命をちょっと書きなおします。

先ほどの【本科】15回目【宿命の算出】22ページの宿命にもどります。

平成18年12月17日に生まれた人の宿命についてです。

日	月	年
干	干	干
支	支	支
庚	庚	丙
辰	子	戌

平成18年12月17日

以上で宿命は完成です ということでした。

この人物の年干支は「^{へいかのいぬ}丙戌」です。

月干支は「^{こうきんのね}庚子」です。日干支は「^{こうきんのたつ}庚辰」です。

とっていますが、これを1つずつ呼称するときには、

日 月 年
干 干 干
庚 庚 丙 「丙戌 ^{へいかのいぬ}」は年干支ですが、^{ねんかんし}丙へいだけを指す
辰 子 戌 ときは、^{ねん}年の^{じっかん}十干なので「年干 ^{ねんかん}」といいます。

真ん中の^{つぎ}庚こうだけを指すときは、^{じっかん}月の十干なので「月干 ^{げっかん}」。

左の^ひ庚こうだけを指すときは、^{じっかん}日の十干なので「日干 ^{にっかん}」です。

このように、^{ねんかん}年干・^{げっかん}月干・^{にっかん}日干 という言い方をします。

この人物の^{にっかん}日干は何ですか……と訊かれたら「^{こうきん}庚金です」という言い方になります。

⇒ 十二支もおなじです。

日 月 年
干 干 干

庚 庚 丙

辰 子 戌

日 月 年
支 支 支

十二支で^き辰いぬを指すときは、(年支 ねんし) とい
います。

真ん中の月の十二支^{つき}子ねを指すときは、(月支 げつし) とい
います。

左の十二支^{たつ}辰を指すときは、(日支 にっし) です。

このように十二支だけを指すときは、年支・月支・日支 ^{ねんし げつし にっし} とい
う言い方をします。

「庚辰^{こうきんのたつ}」という場合には、天干の庚金^{てんかん こうきん}と、地支の辰^{ちし たつ}の
両方を指して、日干支 (にっかんし) ということになるわけ
です。「庚辰^{こうきんのたつ}」でもよいのです。

「庚子^{こうきんのね}」といえは、月干支 (げっかんし) です。

「年干支は何ですか……？」と訊かれたら、「丙戌^{へいかのいぬ}です」
ということになるわけです。

でも、「年干 (ねんかん) は何ですか……？」といわれたら、

「丙火^{へいか}です」ということになります。

⇒ 平成 18 年 12 月 17 日 に生まれた人の宿命を読むときは：

日 月 年
干 干 干 必ず年干支から、順に読みますよ。

庚 庚 丙 「丙 へい」「庚 こう」「庚 こう」は「天干の場所」です。

辰 子 戌 (戌 いぬ) (子 ね) (辰 たつ) は (地支の場所) です。

日 月 年
支 支 支

てんかん
天干を個別にいうときは……、

年干 (ねんかん) ・ 月干 (げっかん) ・ 日干 (にっかん) といいます。

それに十干じっかん「甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸」を加えると……

ねんかん へい か
年干は丙火、といっています。

げっかん こうきんのね にっかん こうきんのたつ
月干は庚子、 日干は庚辰、といっています。

⇒ 十二支も、年支 (ねんし) ・ 月支 (げっし) ・ 日支 (にっし) と
いいます。

宿命を読むと ⇒ 年支は戌ねんし いぬです。 月支は子げっし ねです。

にっし たつ
日支は辰。(です。省略しても OK) このように表現します。

♪♪♪ ぜひ……声に出して練習してください。

発声することで、言い方が身につきます。

☞ 宿命について……知っておいて頂きたいことがあります。

宿命のなかで、日干が自分自身です。

だれでも……日干が自分自身である

このことだけは、覚えておいてください。

* 小泉純一郎 1942(s17)-1-8

日	月	年	
干	干	干	
支	支	支	
辛	辛	辛	<small>しんきんのとり</small> 辛酉が小泉さんの日干支です。
酉	丑	巳	

小泉さんの宿命のなかで、日干につかん「辛しん」が自分自身です。
誰でも日干が自分自身です。

「辛 しん」を、通常は辛金（しんきん）と呼称します。

年干・月干・日干については、もう少し先で詳しく勉強
します。自分は日干ですけど、親はどこになりますか？
結婚相手はどれですか？ 子供はどこになりますか？ と
いうふうに、それぞれの場所が決まっています。
そうでなければ、占うことはできません。

宿命のなかで、日干が自分だということだけは、覚えておいてください。とても大切です。

日 干 支	月 干 支	年 干 支	
辛	辛	辛	「辛」が小泉さんの日干です。
酉	丑	巳	

日干「辛」は小泉純一郎自身をあらわします。

天干の「辛」と地支の（酉）を併せた「辛酉」が小泉さんの日干支です。

日干は〔自分自身〕を意味して「辛金」です。

「辛」に五行の〔木火土金水 もっかどごんすい〕をつけて、「辛金」と呼ぶのが普通です。

なぜなら、「辛」は五行で金性に属しますので、ただ「辛」というよりも、「辛金」と表現したほうがわかりやすいのです。

このことにつきましては、後々……腑に落ちます。

⇒ 今回は“宿命の出し方”をやっただけです。

これから宿命の読み方（解き方）とか、占い方とかを勉強していくことになります。

〔たとえば〕 この宿命はこのように観ていきます。ということ……今後、まなんでいきますが、はじめの頃は、わからなくてもよいのです。書かれている文章を読んでいってください。なぜなら、この宿命は、このようにして占っていくのですよ。ということが書かれています。

☞ 余談ですが、算命学中庸のパソコン授業では、講師の言葉も含めて、全てが文章として書かれています。それゆえに、講師がホワイトボードに書いた事柄を、ノートに書き移す必要はありません。教室の授業で説明を聞きながら、ホワイトボードの文章や図を書き移すのは大変な作業です。

私の経験では、漢字を使っていたのでは、聞き漏らし、書き洩らしが多いので、ひらがな、カタカナで書いていました。

皆様はその必要はないわけです。

それだけに“ここは大切”とご自分で思う箇所があれば、ノートに書いたり、声に出して読んだりして頂きたいのです。

そうすることで、より算命学が身につくとおもいます。

【初年】 15回目【宿命の算出】 終わります

つぎの授業 ⇒ 【初年】 16回目【宿命と五行】